

2022年度（第41回）四国クラブ対抗香川県予選競技

開催日：令和4年7月7日（木）
開催コース：アルファ津田カントリークラブ

主催 香川県ゴルフ協会
共催 四国ゴルフ連盟
後援 四国新聞社

本競技はR&AとUSGAが承認したゴルフ規則（2019年1月施行）と下記のローカルルールと競技の条件を適用する。ローカルルールと競技の条件の修正や追加については各競技の競技規定や注意事項、及び各会場の公式掲示板で確認すること。下記に参照するローカルルールの全文については2019年1月発効の「ゴルフ規則のオフィシャルガイド」を参照すること（www.jga.or.jpで閲覧可）。別途規定されている場合を除き、ローカルルールの違反の罰は一般の罰（2罰打）。

ローカルルールと競技の条件

1. アウトオブバウンズ【規則18.2】

- アウトオブバウンズの境界は白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
- アウトオブバウンズと定められた境界を挟んだどちらか一方からプレーされ、その境界を挟んだ反対側に止まった球はアウトオブバウンズである。そのことは球が他のホールではインバウンズとなるコースの別の部分に止まった場合にも当てはまる。

2. 異常なコース状態（動かさない障害物を含む）【規則16】

(a) 修理地

- 青杭を立て、白線で囲まれた区域。
- 委員会が異常な損傷とみなした地面。
- 張芝の継ぎ目：ローカルルールひな型F-7を適用する。

(b) 動かさない障害物

- 白線の区域と動かさない障害物がつながられている場合、又は動かさない障害物と他の動かさない障害物が接している場合、ひとつの異常なコース状態として扱われる。
- 動かさない障害物で囲まれている庭園区域とその中で生長しているすべてのものは、ひとつの異常なコース状態として扱われる。
- 排水溝はジェネラルエリアの一部として扱われ、ペナルティーエリアではない（例外：ペナルティーエリアとしてマーキングされている区域の中の排水溝）。
- 人工の表面を持つ道路に隣接している排水溝はその道路の一部として扱う。
- パッティンググリーンに近接する動かさない障害物：ローカルルールひな型F-5を適用する。

(c) 指定ドロップゾーン

コース内の以下の箇所では規則16.1による障害が生じた場合には該当ホールの指定ドロップゾーンを使用することができる（いずれもスタンスや意図するスイング区域の障害も含む）。

- 1番ホールグリーン奥の防護柵。
- 8番ホール2打目地点右バンカー付近の白線で囲んだ区域（白線で囲んだカート道部分含む）。このドロップゾーンは規則14.3に基づく救済エリアである。

3. 不可分な物

次の物は不可分な物であり、罰なしの救済は認められない。

- 樹木や他の常設物に密着させてあるワイヤ、ケーブル、巻物、その他の物。
- ペナルティーエリア内にある人工的な壁やパイリング（杭でできた構造物）で作られた護岸。

4. 規則11.1b 例外2に基いてパッティンググリーンから行われたストロークを再プレーしなければならないケースを制限するローカルルール

ローカルルールひな型D-7を適用する。

5. クラブと球

- 適合ドライバーヘッドリスト：ローカルルールひな型G-1を適用する
このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格
- 適合球リスト：ローカルルールひな型G-3を適用する。
このローカルルールの違反の罰：失格

注：適合クラブと球の更新されたリストはwww.randa.orgで閲覧できる。

6. 壊れた、または著しく損傷したクラブの取り替えについてのローカルルール（規則4.1b(3)の修正）

ローカルルールひな型G-9を適用する

《 裏面に続く 》

7. プレーの中断と再開の方法【規則5.7b】

次の方法でプレー中の中断と再開を連絡する：

①差し迫った危険のための即時中断②危険な状況ではない中断③プレーの再開

上記①②③全て放送及びカートナビ無線にて連絡する。

注：危険な状況のためにプレーを即時中断する場合、すべての練習区域は委員会がプレーを再開するまで閉鎖される。閉鎖された練習場で練習するプレーヤーには練習を止めるように勧告し、それでも練習を止めない場合には失格となることがある。

8. 練習【規則5.2】

プレーヤーは2つのホールのプレーの間、終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行ってはならない。又、終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストしてはならない。

例外：競技日にプレーヤーはコース内で練習用に識別されているすべての練習区域を練習のために使うことができる。

9. オーディオ・ビデオ機器の使用禁止

ラウンド中、プレーヤーはいかなる内容であっても個人のオーディオ・ビデオ機器を視聴してはならない。このローカルルールの違反の罰：規則4.3参照

10. 移動

ラウンド中、プレーヤーはいつでも動力付きの移動機器に乗車することができる。

11. キャディー（セルフプレー）

規則10.3は次のように修正される：プレーヤーはキャディーを使用してはならない。

このローカルルールの違反の罰：違反のあった各ホールに対して一般の罰を受ける。

12. チームキャプテンとアドバイス・ギバー（ローカルルールひな型H-2・H-3・H-4参照）

- (1) チームキャプテンはそのチームがラウンド中にアドバイスを求めたり受けたりすることができる。各チームはアドバイス・ギバー（サブキャプテン）をチームキャプテンの他に1人指名することができる。チームはそのアドバイス・ギバーを前もって委員会に届けなければならない。
- (2) チームキャプテン及びアドバイザーは、同じクラブのメンバーまたは職員でなければならない。アドバイス・ギバー（キャプテン及びサブキャプテン）は、お互いに兼任できるがプレーヤーと兼任することはできない。アドバイス・ギバーがプレーヤーを兼任する場合は、その資格を取り消さなくてはならない。
- (3) アドバイス・ギバーはチームのプレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、プレーの線の指示をしてはならない。またアドバイス・ギバーはパッティンググリーン上やティーインググラウンド上に立ち入ってはならない。
- (4) アドバイス・ギバーは自分のチームの各プレーヤーとの関係において、そのサイドのプレーヤーと同じステータスを持つ。

13. 順位の決定

参加選手6名のうち上位5名の合計打数により決定し、合計打数が等しいときは、参加選手の第6位の打数により決定し、なお同打数のときは同位のベストスコアの少ない方が優先し、なお同打数のときは順次第2位以下の打数の少ない者より順位を決定する。

14. スコアカードの提出

プレーヤーのスコアカードはプレーヤーの両足が所定のスコアリングエリアから出た時点で委員会に提出されたことになる。スコアカードを提出する前にスコアリングエリアを離れる必要のあるプレーヤーはスコアリングオフィシャルにその意思を告げなければならない、そしてすぐに戻らなければならない。

15. 競技終了時点

競技結果は、競技委員長の成績発表がなされた時点をもって正式に発表されたことになり、終了となる。

16. 悪天候などにより競技運営に支障が生じたときは、委員会により競技方法を変更する事がある。

17. 注意事項

- ① 予備グリーン（CLOSED表示）は目的外グリーンである。
- ② 距離計測機器の使用については、ジェネラルルール通りとします（ゴルフ規則4.3a参照）。
- ③ コース内での携帯電話は、委員会への問合せ等の緊急時を除き、許可なく使用を禁止する。
尚、スマホのスコア入力等誤解を招く行為についても禁止する。
- ④ 練習は指定練習場で行い、打放練習場においては備え付けの球を使用し、1人1コイン(24球)までとする。
- ⑤ 選手、アドバイスギバーに重大な非行があった場合には規則1.2aに基づいて失格とする場合がある。
- ⑥ キャプテン、サブキャプテン、選手の変更は当日のキャプテン会議開始時間までとする。

競技委員長 青木 茂